

昭和学院中学校

学校図書館が生徒の探求学習をサポート 6年間で自ら書にあたる探究心を養う

自ら課題を探し、考え、解決する資質・能力を育てるために、昭和学院では探求学習を推進している。その中核を担うのが学校図書館。司書教諭や図書館員が教科担当と連携し、資料集めなどで生徒を支援する。

「探求学習」は図書館で実施 教科とリンクした総合学習

昭和学院では、総合学習と各教科が連携して取り組んでいる。例えば、英語圏の国々の文化や歴史といったバックボーンを調べる。そして、彼らに日本文化を紹介するのに必要な情報を得るといった国際理解をテーマにした総合学習の取り組み。「相手を知り、自分を知らぬのも英語教育の柱の一つと考えています」と英語科の西村由起枝教諭はいう。

中1では英語を使っている国について調べる、中2で日本と英語圏の国についてテーマを見つけ比較する、中3で「日本」を海外に発信するというように、段階を踏んで探求学習を深めていくように設定している。そこで生徒の拠り所となるのがメディアセンターと呼ばれる学校図書館だ。図書館は教科担任の事前のリクエストで、探求学習に必要な関連図書や事前に揃える。同校の所蔵する図書は6万4000冊。しかし、利用できる図書数はこれだけではない。同校のある地域では図書館

自主的に調べ、学び、探求する それは昭和学院の文化

同士の連携が進んでいて、市川市立図書館、千葉県立図書館、市川市内の学校図書館にある図書は相互に検索・スピーディーな貸し出しが可能だ。同じ本がクラス全員分必要な時も、30〜40冊を各図書館から集めることができる。生徒は豊富な資料から自分のテーマに見合った本を選んで参考文献とし、探求学習を進めてレポートにまとめていく。図書館司書教諭や図書館員は本を集めるだけでなく、生徒に参考となる本の探し方、テーマの見つけ方なども指導する。例えば、本の目次を見るとテーマ選びの参考になるといった具体的なアドバイスを行う。

中3の総合学習のレポートを見ると、「日本の誇り」「日本のマナー」「伝統的な日本の和楽器」「日本人が知らないカナダの雑学」「洋菓子と和菓子」など様々なテーマで書かれている。基本的には日本語だが、一部を抜粋して英語に訳す。英語の資料も豊富なためか、全文英語で書いてくる生徒もいる。

総合学習の時間を利用してレポートを提出させるようになって4年目、「年々、提出物がバージョンアップしています」と西村教諭。生徒からも探求学習とレポート作成を経て、日本の伝統文化を再認識した、日本でも当たり前のことも他の国から見れば異質だということがわかったなど、まるで海外体験してきたかのような



メディアセンターでは調べ学習の資料コーナーを設置

感想が出ている。また、日本の建築について調べた生徒が建築家になりたいという夢をもつようになったり、全文英語でレポートを書き上げた生徒が国連職員を目指すようになったりと、探求学習がキャリア教育にもつながっている。

同校では高1の夏に3週間、カナダでのホームステイ・プログラムがあり、その下準備としての探求学習にも図書館を活用している。また、英語だけでなく社会や国語など他の教科でも探求学習は推進されている。同校には朝読書の時間もあるため、放課後はもちろん昼休みや短い休憩時にも図書館には本探しや返却など多くの生徒が出入りし、稼働率は抜群に高い。図書館で学ぶ先輩の姿が後輩の範にもなり、自主的に図書館に行き、本を探して調べ、探究するという行動は、いまや昭和学院の文化として生徒の中に深く定着しつつある。そして、それは生徒にとって、将来、必ず役に立つ力となるだろう。

学校訪問では絶対にココをCheck!



新しい学びのスタイル

メディアセンターの役割

昭和学院のメディアセンター（図書館）は2010年の新キャンパス完成と同時にオープンした。「図書館は学校の中心にあるべき」という創立時からのコンセプトを受け継ぎ、校舎内の最も便利な位置に置かれている。

図書館スタッフによる、図書に関心を持ってもらうための工夫も随所に見られる。季節ごとのおすすめ図書コーナーは図書委員の生徒を積極的に関わらせてディスプレイし、ビジュアル的にも目を引くコーナーになっている。他にも、テーマ性を持った棚を随時企画・設置したり、中学生、高校生それぞれに対して独自の推薦図書100冊を掲載した冊子「羅針盤」を配布したりと精力的だ。また、生徒作成のレポートをファイリングして教科担任や生徒の参考資料とするなど、アーカイブ機能も備える。

SCHOOL DATA

所在地 〒272-0823 千葉県市川市東菅野2-17-1

TEL 047-323-4171

URL <http://www.showa-gkn.ed.jp/j/>

- 設立 1940年
- 併設校 昭和学院幼稚園、昭和学院小学校、昭和学院高等学校、昭和学院短期大学
- 生徒数 (1年) 135人 ● クラス編成 30~35人
- 男女比 男40% 女60%
- 授業時間 8:35~15:00 (土)~12:25

- 海外交流校 無
- 帰国生徒特別入試 有
- 中高6年間費用 約400万円
- 交通 本八幡駅(JR総武線、都営新宿線)徒歩約15分、京成八幡駅(京成本線)徒歩15分またはバス約5分、市川大野駅(JR武蔵野線)よりバス10分、東松戸駅(北総線)よりバス15分

- 大学合格実績(過去3年間) 東京工業、東京学芸、東京藝術、千葉、埼玉、茨城、山梨、琉球、千葉県立保健医療、慶應義塾、早稲田、上智、東京理科大学、明治、青山学院、立教、中央、法政、昭和薬科、明治薬科、立命館、東京女子、日本女子など